



# モノづくりを未来に

## 地域貢献決意

「山形は都会より商売しやすい環境がある」。営業面でも山谷はあった



若手が核となる。中古機の再生も自社の引き上げ、年間休日の取り組むなど技術集団 充実化に着手している。そして地域貢献。一人は育ててきて目となる新工場の稼働にねばならぬ。自然とパトナツより、100年続く企業」と決意をえ、当面はかじ取りを担う構えだ。

# 地の利フル活用 地方で成長

## 新卒4人採用

企業は人なり。今春に新たな地元から新卒を4人迎える予定だ。16年い、今後も地方からの成長に意欲を燃やしている。

## リングに上る

「闘うリングに上らないと勝つ権利すらなくなる」と例える企業との情報交換を活性化する。「リングに



伊福さん

## ティールーム

欧州に拠点を置く。3Dプリンターを導入し、造形技術の向上に

生産は工作機械、産業用機械、汎用・業務用機械が弱含み。中国経済などの減速で受注減。台風の影響も幅広い業種に影響した。設備投資は、非製造業でキャッシュレス対応の投資、製造業で設備の維持・更新で増加し、個人消費は、百貨店で高額商品や白物家電が反動減。インバウンド消費は勢いが軟化

生産力が弱含み 個人消費足踏み 暖冬影響で低調 消費持ち直し

新車販売が好調 車生産が堅調 消費は一進一退 食品生産横ばい 設備投資が堅調

船舶低下も建造量が 自動車生産は新型車 効果や海外のスポーツ 多目的車(SUV)人気 紙加工品で投資計画。 製造装置も回復傾向。 汎用・生産用・業務用 業とも設備投資計画は 機械は弱い動き。外国 雇用情勢は8割以上の 人実習生受け入れや労働環境改善に向けた投 資が促進。暖冬で冬物 衣料などが販売不振。 家電はテレビで買い替 の取得に取組んだ。 軽自動車や普通車 需要の動き。観光で コンビニのキャッシュレス決済が増加し個人 販売は不振も新車販売 プ効果がみられた。 消費は改善した。

きた菅原だが「この工場進出は少し考えあつた」と明かす。庄内町は人口約2万。しかし交通の要衝地もある。西方向を見れば山形県酒田市、同鶴岡があり、東には同新庄。その先には宮城県大

が、利点も多いという。庄内エリアには大手の進出工場も多く発注先が近い。また、さまざまな分野のキーパーソンまでの距離も近い。都会でもまれな年齢は34歳と若い。次代へのパトナツチに向けて菅原は「若手を育て、

のまなざしに町工場はど う映るのか。菅原は「モノづくりを未来に残したい」と、今後も地方からの成長に意欲を燃やしている。(敬称略)

市西区)社長の伊福元彦さん。近く金属3Dプリンターの活用が進む。